衣装協力：ホアキン・ペラオ（イヤリング、バングル）

目標に向けて仲間と頑張る、その日々ごと楽しんで

もっと自由に気軽に、誰もが楽器に親しめる社会を

吹奏楽プラス スペシャル対談

ともに奏でる喜びを、多くの人に

俳優 上野樹里 × 服部 悟 楽器王 代表

音楽と無縁だった女子高生が、ひょんなことからビッグバンドジャズに目覚めていく映画『スウィングガールズ』（2004年公開）は、いまなお音楽ファンの絶大な人気を集めています。主演の上野樹里さんをはじめとするキャスト陣が、吹き替えなしで劇中の演奏に挑んだことも話題に。中古楽器の買い取り・販売事業を手がける楽器王の服部悟代表と、音楽の魅力や合奏の面白さ、吹奏楽のこれからを語り合いました。

4カ月でゼロから猛練習 撮影は青春そのものだった

――映画『スウィングガールズ』の撮影時、楽器の習得にはかなり苦労されたそうですね。

上野　もともと私の役はアルトサックスを吹く予定だったんですが、「かっこいいからテナーサックスをやってみたいです」と監督に頼んでOKをもらいました。とはいえ全くの初心者なので、本当に大変でした！　練習できるのは撮影期間を含めてたったの4カ月。ソロも任されているのに、自分の音色が不細工というか洗練されていないように感じてしまい、悔し涙を流したこともありました。それでも少しずつ音楽が出来上がっていくのは楽しかったですね。みんなと呼吸が合うと、大きくて強い「塊」になっているような感覚があって……。映画のプロモーション活動では、国内各地のほかニューヨークやロサンゼルスなどでも演奏させてもらいました。仲間と必死に練習してステージに臨む、まさに青春時代そのままのキラキラした日々でしたね。

服部　映画の公開当時、私は岡山で楽器修理店を開いたばかりでしたが、「サックスをやってみたい」というお客さんが大勢来店されて、びっくりしたのを覚えています。音楽業界を盛り上げていただき、本当にありがとうございました（笑）。

上野　『スウィングガールズ』のほか、「のだめカンタービレ」シリーズなどを見た方からも「あの作品がきっかけで音楽を始めました」などと声をかけていただくことがあってうれしいですね。いつかまた「ガールズ」のメンバーで同窓会みたいに集まって演奏できたら楽しいだろうなあ。

眠っている管楽器を 次のプレーヤーへつなぐ

――「楽器王」の事業は、服部さんの高校時代の吹奏楽部の活動がきっかけだそうですね。

服部　岡山の商業高校のブラスバンド部で、フルートを吹いていました。マーチングでは全国大会に出場するほどの強豪校で、当時は練習時間も長くてとにかく過酷。それでも仲間と過ごすのはすごく楽しかったんです。この時、リペアマンという職業の存在を知って楽器修理の専門学校へ。留学を経て開業し、楽器修理から中古楽器の売買へと事業を広げていきました。フルートとサックスの修理の腕前は、僕が日本一だと自負しています！

――なぜ中古楽器を取り扱うように？

服部　新品の管楽器は、「ちょっと始めてみようかな」と気軽に買うには値段がかなり高いんです。一方で中古の管楽器は、都内の一部やフリマアプリなどを除くと、取り扱っている所がほとんどない。金銭的な理由で音楽を諦める人をなくしたい、という思いがずっとありました。

上野　たしかに、車やバイクやパソコンなら中古が当たり前にあるのに、管楽器ってあまり聞かないですね。もっとたくさんの人が手軽に楽器を手にできれば、すごく楽しい世界になりそう。

服部　まさに私たちもそれを目指しているんです。いまは、中古楽器を売る人がまだまだ少ないのが実情です。思い出が詰まっていて手放したくないという気持ちもよくわかるんですが、もし何年も押し入れの奥に眠っているのなら、次のプレーヤーに受け渡すという選択肢もあります。それが、吹奏楽文化の活性化につながっていきますから。

上野　私の夫（注:TRICERATOPSの和田唱さん）はヴィンテージギターが好きなんですが、彼曰く「コレクションとして保管されていた楽器は状態がきれいでもそんなに響かないことがある。ステージ上でたくさん使われてきた楽器の方が音が鳴るんだ」と。楽器って、持ち主の熱量や思いを記憶しているのかもしれないですね。それが楽器の放つ“オーラ”になるというか。そんな楽器との一期一会の出会いも素敵ですよね。

服部　私たちは、中古楽器を丁寧に修理・手入れし適正な価格で販売することで、誰もが気軽に好きな楽器を手にすることのできる世の中を作りたいと本気で思っています。いま全国に12店舗ある「楽器王」を、3年以内にフランチャイズ店を含めて150店舗まで拡大するのが目標です。

上野　そうやって明確な目標を決めて先導する方がいれば、未来は変わると思います。応援しています。

コンクールの結果よりも 大事にしてほしいこと

――より多くの人が吹奏楽に親しめるよう、環境づくりにも取り組んでいくそうですね。

服部　いま、公立中学校の部活動の「地域移行」が進みつつあります。子どもが音楽に出会う機会が決して減ることのないように、また、吹奏楽という素晴らしい文化を守っていけるように、我々にできる取り組みをしていくつもりです。それから、岡山と巣鴨（東京）では、年齢を問わず誰でも参加できる吹奏楽団の活動を月1回続けています。大人になると合奏できる機会なんてほぼないですからね。時には100人以上集まることもありますよ。上野さんもいつかぜひゲストでお越しください！

上野　昨年末、カウント・ベイシー・オーケストラの来日公演を聴いて、音楽って言葉も時代も超えて心に伝わるもの、人を元気にするものだとあらためて実感しました。昨今の部活動や音楽を取り巻く環境の変化もポジティブに捉えて、よりよい形に進化していけるといいですね。

――最後に、「吹奏楽コンクール」を控えた吹奏楽部員にエールを。

服部　日々の練習は苦しいことも多いでしょうが、根っこにある「音楽が好き」という気持ちだけは忘れないで。それが皆さんの一生の宝物になるはずですから。頑張ってください。

上野　望む結果が得られるかにかかわらず、一つの目標に向かってみんなで頑張る過程というのは、人生において本当に貴重な経験です。いまだけの素敵な時間を存分に楽しんでくださいね。

Profile

うえの・じゅり／1986年、兵庫県生まれ。『ジョゼと虎と魚たち』で映画デビュー。『スウィングガールズ』、「のだめカンタービレ」シリーズ、「江～姫たちの戦国～」など出演多数。2025年5月公開『パフィンの小さな島』にゲスト声優として出演。

はっとり・さとる／1982年、岡山県生まれ。中部楽器技術専門学校で楽器修理技術を学ぶ。2004年、管楽器修理工房服部を設立。15年、服部管楽器設立。16年、日本管楽器修理師協会を設立。23年、株式会社TOMONIが「楽器王」ブランドを創設。

吹奏楽プラス　WEBサイト「吹奏楽プラス」は、朝日新聞が運営する、吹奏楽のためのライブ配信情報サイトです。この対談の様子は、「吹奏楽プラス」でもご覧いただけます。
https://www.asahi.com/s-plus/column/article10023/SPA20250606.html

daishingroup 楽器王

♪ 買い取りできる管楽器多数 ♪
楽器王では、木管楽器・金管楽器を幅広く買い取りしています（マウスピースや付属品のみでもOK）。壊れていたり、傷や凹みがあったりしても、買い取り可能です。査定は、管楽器のプロフェッショナルが丁寧に実施。査定額は楽器の状態によって変動します。

♪ 査定・買い取りは自宅からでもOK ♪
楽器の査定は、店舗・電話・LINE・WEBのいずれかでお申し込みください。査定額に納得したら買い取りへ。店舗へ持ち込んでいただく「店舗買い取り」、ご自宅までスタッフが訪問する「出張買い取り」、宅配便でお送りいただく「宅配買い取り」から選べます（店舗によって異なります）。

♪ 中古楽器の販売や修理も ♪
西巣鴨店や東大阪店、岡山本店、山陰店などの一部店舗では、管楽器の新品販売・中古販売や修理も行っています。また、全国から選りすぐりの中古・ヴィンテージ楽器が集まる「中古楽器の祭典　楽器王フェスタ」も随時開催しています。詳細はWEBサイトでご確認を。

楽器を売るなら「楽器王」 LINEやWEBでの査定も！
https://gakkiou.com/

【店舗一覧】西巣鴨店／浜松店／東大阪店／梅田大阪駅前ビル店／なんば店／天王寺あべの店／天王寺谷町九丁目店／神戸三宮店／岡山本店／福山店／山陰店／福岡店（フランチャイズ店含む／2025年5月時点）

運営：株式会社TOMONI